

2017年6月21日

各 位

東京都渋谷区桜丘町20番1号  
株式会社アミューズ  
代表取締役社長 畠中 達郎  
東証第1部(コード番号:4301)



プロバレーボール選手 柳田将洋、ドイツ・TV Ingersoll B ühlと契約締結  
アミューズがスポーツビジネス市場に本格参入

総合エンターテインメント事業を展開する株式会社アミューズ(代表取締役社長:畠中達郎 本社所在地:東京都渋谷区)は、このたび、プロバレーボール選手の柳田将洋選手、陸上長距離の大迫傑選手、ヴィクトリーナ姫路監督の竹下佳江とマネージメント契約を結び、アスリートのトータルプロデュース事業を開始致します。

アミューズがスポーツビジネス市場に本格参入するにあたって、新たにスポーツビジネスプロジェクトを新設し、元プロアイスホッケー選手の坂田淳二がエグゼクティブプロデューサーに就任致しました。元プロアスリートとしての海外での経験に加えて、自ら築いたデュアルキャリアのメソッドを活かし、アスリートのトータルプロデュース事業を構築して参ります。

今回、本事業の最初の取り組みとして、プロバレーボール選手・柳田将洋選手のドイツ・TV Ingersoll B ühl(ティービー・インガーソル・ビュール)との契約締結を弊社で手掛けさせていただきました。今までにあったような、芸能活動のみをサポートするマネージメントではなく、アスリートのエージェント業務として、世界で活躍する機会の提供を行いながら、現役アスリートに留まらず、引退後もベストパフォーマンスを発揮できるようなサポートを実施し、アスリートたちにとって最良となる、次世代サービスの創出を目指していきます。

なお、今後の展開としまして、次世代のアスリート育成のために、柳田将洋選手は、バレーボールを通じた地域活性化・競技の普及を図るとともに、スポーツの楽しさを子どもたちに伝える活動、大迫傑選手は、競技専念の為の環境支援、プロランナーとしての地位向上、ランニングを通じたグローバル教育、竹下佳江は、女性アスリートのリーダーとして活躍の場を拡大し、ママアスリートに向けた情報発信、競技と妊娠・出産・育児などのライフイベントとの両立に向けた仕組みづくりや、また現在課題とされている女性指導者増加に向けての環境支援を行って参ります。

## ＜プロフィール＞



## 【柳田将洋(やなぎだ まさひろ)】

1992年7月6日生まれ

2011年3月 東洋高等学校 卒業

2015年3月 慶応義塾大学 卒業

2015年4月 サントリーサンバーズ 入団

## ＜戦歴＞

2010年3月 第41回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会 優勝

2015年 第64回黒鷲旗 優勝

2016年 2015/16 Vプレミアリーグ最優秀新人賞

☆全日本代表歴 2013年～

## ＜柳田将洋コメント＞

この度、ドイツ・TV Ingersoll Bühl とプロ契約を締結致しました。

ここに至るまでにご尽力して下さったたくさんの方々から感謝致します。

海外でプレーするのは、代表以外では初めてで、最初は言葉や文化の壁を感じると思いますが、そういったところも含め成長していきたいと思います。また、プレーでも今持っている自分のスタイルを常に発揮し、スキルのレベルアップやバレーボールそのものの視野を広げていきたいと思います。

そして今後は、未来を担う子供たちにスポーツへの夢や希望を与えられるよう、次世代育成へ貢献・競技の普及に尽力していきたいと思います。

今後とも応援よろしくお願い致します。



## 【大迫傑 (おおさき すぐる)】

1991年5月23日生まれ

佐久長聖高等学校卒業、早稲田大学スポーツ科学部卒業後、日清食品グループへ。

2015年同社を退社し早稲田時代からの練習拠点であったナイキ・オレゴン・プロジェクト(アジア人史上初)正式に加入。現在もプロジェクトの下、プロランナーとして活動中。

2014年 Rieti Meeting 2014 3000m 7分40秒09 ☆日本記録

2015年 ナイトオブアスレチックス 5000m 6位 13分08秒40 ☆日本記録

2016年 第100回日本陸上競技選手権大会 5000m, 10000m 優勝 ☆2冠達成

2016年 リオデジャネイロ オリンピック 10000m 17位 27分51秒94

2016年 リオデジャネイロ オリンピック 5000m 28位 13分31秒45

2017年 ボストンマラソン 3位 2時間10分28秒 ☆日本人男子で30年ぶりの表彰台

## ＜大迫傑コメント＞

日本を離れ3年が経ちました。チームや家族、周りの皆さんの支えで競技に集中出来ている事を感謝しています。プロランナーとして活動する中で、海外挑戦で得た経験を発信していく立場にある事を意識し始めました。特に子供達に未来のアスリートとしての可能性を広げられるよう、「エリートランナー発掘・育成プロジェクト」に力を注いでいきたいと思っています。また、自身もより厳しい世界に身を置き、チャレンジし続けて参ります。引き続き、応援のほど宜しくお願い致します。



### 【竹下佳江（たけした よしえ）】

1978年3月18日生まれ

1996年-2002年 NEC レッドロケッツ

リーグ優勝（'99年度 '02年度） 黒鷲旗優勝（'97年 '01年）

2002年-2012年 JT マーヴェラス

リーグ優勝（'10年度） 黒鷲旗優勝（'11年）

1997年、2000年-2001年、2003年-2012年 全日本代表

☆オリンピック（アテネ5位、北京5位、ロンドン銅）

☆世界選手権（'06年 '10年銅メダル）

☆ワールドカップ（'03年 '07年 '11年）

2013年 現役引退

2016年 ヴィクトリーナ姫路監督就任

#### <竹下佳江コメント>

次世代の女性アスリートに向けて私自身が手本と思ってもらえるような存在でありたいと思っています。特にバレーボールを通して得た世界、セッターというポジションで培ってきたものを活かして、引退後も競技普及の活動が出来るようなサポート体制もビジネスモデルとして確立していきたいと考えています。引き続き宜しくお願い致します。

### 【坂田淳二（さかた じゅんじ）】※スポーツビジネスプロジェクト エグゼクティブプロデューサー

1974年北海道帯広市出身の元プロアイスホッケー選手。コクド入社。アイスホッケーの実業団チームの選手として日本アイスホッケーリーグに出場。2003年に同社を退社し、渡欧。アジア人初の欧州プロアイスホッケー選手として活動を開始。スウェーデン、イギリス、アメリカを渡り歩き、最終的には、世界3大リーグのひとつで欧州最強リーグ・チェコのチームとアジア人初のプロ契約し活躍。

現在は株式会社アミューズにて、国内や海外で元プロアスリートとして経験したことに基づいて、現役アスリートのサポートに加え、引退後の人生設計を支援するプロジェクトに取り組んでいる。

#### <経歴>

- ・株式会社アスリートシップ代表取締役 CEO
- ・株式会社スマートコーチ ファウンダー兼取締役(ソフトバンク G)
- ・PRIME FIELD ASIA CEO(HONG KONG)
- ・文部科学省 2020 東京グローバル教育委員会有識者
- ・広島県教育委員会グローバルプロジェクトアドバイザー
- ・OECD 広島創生イノベーションスクール講師
- ・スポニチ毎日ホールディングスネットメディアアドバイザー

#### <本件に対する問い合わせ>

株式会社アミューズ

グループ経営企画部 広報・IR 室  
マネージメント情報管理部

TEL:03-5457-3302

TEL:03-5457-3303